

【R6.5.27】体育大会全校練習②（校長講話）

体育大会まで1週間を切りました。当日に向けて2点について話します。

(1) 24日（金）体育大会予行

初めての環境で行う体育大会予行でしたが、それぞれの出番に向けて、また係等の役割を果たすため、頑張っている姿が見られました。予行の開会式練習の際に話した通り、よい“準備”が体育大会の充実につながります。これまでの練習を含め予行全体を通して、これだけ一生懸命取り組んでいるなら当日は大丈夫だと確信しました。具体的には、予行だからといって、いい加減に競技に取り組むのではなく、最後まで全力で走っている姿、転んだり、失敗したりしてしまった仲間にねぎらいの言葉をかける姿、一生懸命仲間を応援する姿、そして7組の大縄、係の仕事に取り組む姿を見ていて、「ああこれがスローガンにある四中らしく」なんだと、みんなの姿を見ていて納得しました。

予行当日は徐々に気温が上がってきたこと、会場を借りられる終了時間も迫っていたこと、そして予行で最低限確認すべきことができた判断したので、閉会式の練習をせずに終了としました。出番があった生徒、実行委員の皆さん、申し訳なかったです。全校練習の中で“準備”を進めてください。

(2) 競技中のマスクの着用について

それぞれの事情で日常的にマスクを着用していること、それを否定しているわけではありません。

スポーツの結果等を報じるテレビ、ニュース、新聞、雑誌、YouTubeも含めて、マスクを着用したまま運動している選手は見られません。鍛えられた選手ですら、競技中はマスクを外しています。それは特に運動スポーツには「呼吸」がとりわけ大切だからです。確かにマスクをしてトレーニングをするアスリートはいます。しかし、それは鍛えられたアスリートが専門家の指導の下、行っているトレーニングでのことです。

実は、マスクを着用したまま運動して、呼吸が困難になって気を失ってしまい救急車で運ばれた、亡くなったという痛ましい事故が全国では起こっています。

自分の出場する競技の際には、安全のためにも、最高のパフォーマンスをするためにもマスクの着用については“適切に判断”してください。

体も心も頭も、よい“準備”をして、体育大会当日を迎えられるよう頑張ってください。先生たちも全力で応援しています。